

学校運営支援協議会について

1 概要について

一関市学校運営支援協議会規則より

- ① 名称は「学校運営支援協議会」
- ② 目的は「学校と地域住民、保護者が協議することにより、地域住民等の学校に対する支援及び協力を促進し、学校と地域住民等の信頼関係を深め、持って学校運営の改善並びに児童生徒の健全育成を図ること。」
- ③ 学校ごとに置くが小中学区で置くこともできる。
- ④ 委員は15人以内
例)・地域住民 ・保護者 ・校長 ・教職員 ・学識経験者 ・関係行政機関の職員 ・その他教育委員会が必要と認める者
- ⑤ 任期は4月1日～3月31日の1年 再任を妨げない。
- ⑥ 会長、副会長は委員の互選。

2 会議の主な内容

- ・学校運営基本方針の説明、承認
- ・学校運営状況の報告、学校への支援（ボランティア等）や協働推進などの意見交換（学校安全、授業、環境整備の支援 地域防災、読書活動の共同推進 等）

3 一関市における学校運営支援協議会設置のスケジュール

令和4・5年度は研究協力校による先行実施

（研究協力校 一関小 弥栄小 舞川小 舞川中 大東小 大東中 東山小 室根西小 東小 室根中）

令和6年度から市内小中一斉実施

4 これからの会議の方向性・見通し

学校運営の基本方針の説明、承認

学校運営状況の報告

現在の地域ボランティアの活動の支援、意見交換

本校地域ボランティアの例：交通安全指導、図書館支援、教科（ミシン、調理実習等）支援
ベルマーク収集、校外学習見守り、体育支援（体力測定、プール監視）
クラブ活動支援（茶道、琴）等

今後（次年度含む）の見通し

- ①地域ボランティア・地域行事（地域団体）の要請文書を配付し、希望児童が参加できるようにする。
- ②任意団体の活動を、ホームページに載せ、希望児童が参加できるようにする。
- ③一斉挨拶運動（参加集約できるか） ・活動場所広げる・地域活動・地域を知る

※他校では地域の特性を生かした活動もしている。

郷土芸能伝承活動、放課後子ども教室、農作業体験 等

本日の会議では、①学校運営支援協議会の3つの柱の確認

②活動内容の計画、地域への周知・協力要請の方法の検討をしたい。

《 役員互選について 》

学校運営支援協議会メンバー

R5.9. 5現在

番号	役 職	氏 名	備 考（現職）
1	地区推薦	百 々 正 博	
2	地区推薦	伊 藤 文 男	
3	地区推薦	武 田 勝 郎	
4	地区推薦	齋 藤 宏 一	
5	地区推薦	千 葉 美佳子	
6	充て職 P T A会長	関 東 禎 志	
7	充て職 校長	菅 原 正 樹	
8	充て職 副校長	尾 崎 尚 子	
9	充て職 地域コーディネーター	三 浦 聖 子	
10	地区推薦	検討中	
11	地区推薦	検討中	
12	地区推薦	検討中	
13	充て職 P T A会長	検討中	
14	充て職 校長	勝 部 孝 行	
15	充て職 副校長	千 葉 竜 也	

《 R5年度の学校運営支援協議会計画 》

～地域とともにある学校づくり～

(1) 一関小学校が目指したい3つの柱と取組

学校が目指したい3つの柱	地域との連携しながらの取組
① 地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現	地域ボランティアマネジメント
② あいさつができる児童の育成	あいさつ向上の取組
③ 児童の安全向上と感謝の気持ちの育成	安全見守りの可視化

(2) 学校と地域が連携（パートナー）しながらできる今年度の取組

① 地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現 → 昨年同様継続

② あいさつができる児童の育成

今年は地域の挨拶と児童の挨拶の可視化

「地域に挨拶の花を！咲かせようプロジェクト」

児童会スローガン：さかせよう 関小 笑顔の花

③ 児童の安全向上と感謝の気持ちの育成

「地域の安全を守る方々とのつながりを深めよう」プロジェクトの
拡大継続

● ねらい

地域の安全を見守ってくださる方々とのつながりを深め、自然に感謝の気持ちをもちながらあいさつができる子どもを育てる。

● プロジェクトの概要

通学路で毎日子ども達の安全を見守ってくださる方々の名前を知ること、親近感や感謝の気持ちをもたせるとともに、積極的なあいさつができる子どもを育てる取り組みです。

第2回 学校運営支援協議会提案

「地域に挨拶の花を！咲かせようプロジェクト」

～第1弾 一斉おはようDAY（仮名称）～

目的：地域の方々とたくさんの挨拶ができることで、次のような児童像と地域

- ①地域の方々を身近に感じることができる。
- ②挨拶の気持ちよさを体感し実践できる。
- ③コロナ禍でなかなか接することができなかった、児童を身近に感じることができる。

実施日 11月1日（水） 安全の日

場所 通学路で児童が多く通るポイント、3カ所

時間 5カ所で多くの児童が通る時間にする。（20分間）
1カ所は、学校校門から校舎へ通じている道にしたい。

例えばAポイントは7：20～7：40 D・Eポイントは7：40～8：00
Bポイントは7：30～7：50
Cポイントは7：10～7：30

方法 ①地域の方に呼びかけ、参加していただく。
地域の方が、3つのポイントから一つを選択する。その時間に通学路に立ち、児童と挨拶を交わす。

②児童会にも学校運営支援協議会からの提案を伝え、子供たちの創意工夫で、その日の挨拶が活性化するようにする。

③学校からは、保護者に安心でんしょばとで参加を呼びかける。

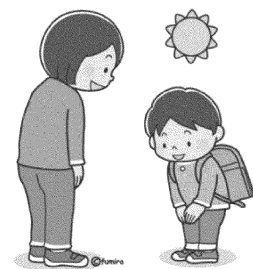
その他 ●使用するもの

①一関小ベスト着用（50枚購入済み）

（一般財団法人岩手県学校安全互助会より学校等安全普及啓発補助金申請をしました。）

②のぼりばた（10枚購入予定：旗に文字を入れる予定）

旗の文字例：地域に挨拶の花を！一関小学校



(3) 学校運営支援協議会これからの実施への見通し

●令和5年11月29日(水)

第3回学校運営支援協議会(中間まとめ・中間検証)

●令和6年2月20日(火)

第4回学校運営支援協議会(年間まとめ・次年度計画)

※桜町中学校も参加